

土木学会平成24年度全国大会に参画（平成24年9月5日～7日） 国土交通省

平成24年9月5日(水)～7日(金)に名古屋大学において、土木学会平成24年度全国大会が開催されました。本大会の実行委員長に足立中部地方整備局長があたり、大会運営の一部を中部地方整備局企画部が担いました。今大会は、「地域の復興、日本の再生～土木工学が果たすべき役割～」を大会テーマに掲げ、第67回年次学術講演会、研究討論会や全体討論会の開催の他、中部地方の防災に関する取組と東日本大震災の復興に関する取組についてのパネル展示等を行いました。

土木学会平成24年度全国大会の概要

1. 日時 平成24年9月5日(水)～7日(金)
2. 場所 第67回年次学術講演会、研究討論会他
 :名古屋大学東山キャンパス
 基調講演会、全体討論会
 :名古屋大学豊田講堂
 パネル展示、土木コレクション2012
 :名古屋大学東山キャンパス
3. 参加者数 約22,000人(3日間の延べ人数)

足立実行委員長挨拶



パネル・震災モニュメント展示

幅広い市民の方々にむけて土木がつなぐ中部の未来に関するプロジェクト、中部地方の防災に関する取組と東日本大震災の復興に関する取組についてのパネル展示を行いました。



全体討論会



産・官・学・民の各分野で活躍しているパネリストが、今後想定される巨大地震に備えて、土木工学が果たすべき役割について議論しました。佐藤技監の代理として足立中部地方整備局長パネリストとして登壇し巨大地震への備えについて語りました。

- コーディネーター：
 辻本 哲郎（名古屋大学教授）
- パネリスト：
 家田 仁（東京大学教授）
 大村 秀章（愛知県知事）
 金子 剛一（中日本高速道路株式会社 代表取締役社長CEO）
 足立 敏之（中部地方整備局長）
 （国土交通省 技監 佐藤直良 の代理）
 高嶋 哲夫（小説家）
 松田 曜子（NPO法人レスキュー
 ストックヤード理事）



100周年記念討論会



「100周年事業」として本大会では「土木界・土木学会は、これまで何をしてきたか、これから何をすべきか」と題し、100周年記念討論会を開催しました。

土木界の代表者の一人として足立中部地方整備局長がパネリストとして登壇しました。

- コーディネーター：
 小野 武彦（土木学会会長、100周年戦略会議議長）
- パネリスト：
 奥野 信宏（中京大学総合政策学部教授、元名古屋大学副総長）
 田中 里沙（株宣伝会議取締役、編集室長）
 山崎 登（NHK解説副委員長）
 山本 卓朗（土木学会顧問・前会長、前100周年戦略会議議長）
 藤井 聡（100周年戦略会議委員、元100周年準備委員会幹事長、
 京都大学大学院教授）
 足立 敏之（中部地方整備局長）

第67回年次学術講演会

全国の大学、研究所、国、地方自治体、民間企業の土木研究者、土木技術者を中心に、構造、水理地盤、計画、コンクリート、建設技術マネジメント、環境・エネルギーに係る3,138題の研究講演が行われ、発表された研究成果、技術報告に対して活発な議論が行われました。

中部地方整備局からは以下の講演をしました。

- 新流出予測モデルの開発
 /蓮ダム管理所
- 計画外力を超える高潮等を想定した地域の防災意識向上に向けた取組み
- 揖斐川下流部における塩化物イオン濃度及び溶存酸素濃度の現地調査
 /木曾川下流河川事務所